

事業所における児童発達支援サービス自己評価の結果及び分析（公表）

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容、又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5		・利用定員を遵守している。野外活動では公共施設を利用することもある。	・児発での利用児童が1名であるため、活動のスペースは十分満たしている。
	② 職員の配置数は適切であるか	5		・指定基準以上の人員配置をしている。	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5		・子どもの特性に合わせ必要時には間仕切りやパーテーションを活用。その日の活動を視覚的に提示する等の配慮をしている。	・スロープの設置、及び施設内は各部屋やトイレなどを段差がないように配慮している。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5		・毎日清掃、消毒を行っている。空気清浄器、エアコンを使用している。	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	1	・ミーティングやモニタリング時に振り返りを行っている。	・職員会議、及び個別支援計画の作成については全職員が参画している。またモニタリング等での情報も記録したものが全員が確認できるようにしている。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5		・評価表の回収後、職員間での結果の共有、分析を行い、業務改善につなげている。	・評価の結果について分析を行い、次年度の運営や活動の改善に活かしている。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5		・保護者、関係機関向けの通信、法人のホームページで公開している。	・自己評価の結果及び分析を保護者へ配付するとともに、三笠市社会福祉事業団のホームページにおいて公開する。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか				・三笠市社会福祉事業団として第三者評価は実施していない。その代わりに、理事会を開催して運営計画や活動報告の審議を行っている。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5		・可能であれば複数での参加で共通認識し易くなる。 ・部会や保育士等研修に参加している。	・日程、及び利用状況を鑑みながら可能であれば複数での参加も検討する。
適切な支援の提	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5		・定期的に保護者と面談を行い、ニーズや課題を整理し、計画を作成している。	
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5		・子どもの理解シート等を活用している。	
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5		・子ども、保護者のニーズ、課題から必要な支援内容を考え設定している。	
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5		・計画に沿った支援に努めている。	
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	5		・ミーティングで課題を共有、活動プログラムは話し合っ決めていく。	
⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5		・運動、工作、音楽、学習等の活動プログラムで行っている。図書館等の社会資源も活用している。		

供	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	2	3	・1名の利用により。	・対象児童が1名のため、集団活動は実行できないが、集団を意識した活動を取り入れている。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	1	・朝のミーティングで引継ぎや送迎について確認し、情報共有に努めている。	・5名という職員数なので、業務等について不明な点は、素早く朝の打合せで確認をしていく。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5		・次の日の朝のミーティング時に振り返りや気づいた点を共有している。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5		・日々の記録記載を努め、振り返りに生かしている。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5		・初回3か月、その後は6か月でモニタリングを行い、計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携関係や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5		・管理者、児発管、担当保育士等、支援に携わる職種で適時参加している。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5		・子ども園や保育所とのケース会議を通じて情報共有を行い、連携した支援を行なっている。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				・該当者なし。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				・該当者なし。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか				・該当者なし。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2	1	・該当者なし。(1名) ・今年度は該当者はいない。(1名)	・次年度の小学校移行児童については情報提供等の引継ぎを行う予定。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5		・圏域センターに助言を受け、連携した支援を行なっている。また、センター主催の研修にも参加している。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		5	・ほとんど児童が保育所等に通所していたため、機会は設定していない。	・相手側の都合もあり、交流する機会はなかった。小学生の子どもたちとは一緒に活動をしました。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	3	・部会、要対協には管理者、児発管が参加している。	・支援委員会や要対協への参加、並びに相談員と学校との協議に参加している。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5		・連絡帳や電話、送迎時に子どもの様子についてお伝えしている。	
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	1	3	・ペアレントトレーニングは行っていないが、困りごとへの対処の提案、親子で活動に参加する機会を設ける等は行っている。 ・児発ではペアレントトレーニングを行っていないが、保護者に対して支援の在り方については話し合っている(1名)	・保護者と児童に対するペアレント・トレーニングは実施していないが、支援の在り方を保護者と話し合ったり、保護者が「かざぐるま」を参観しながら指導内容を学ぶ機会は設けた。
㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5		・契約時に重要事項説明書で具体的な説明を行っている。		

保護者への説明責任等	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5		・計画の説明を行い、同意を得ている。	
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5		・面談や電話、送迎時に相談を受け、助言を行っている。	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		3	・保護者会はない。希望があれば検討させていただく。(1名) ・保護者会は行っていない。次年度以降はコロナの状況も鑑みながら検討。(1名)	・父母会は今年度も開催していない。仕事のあるご家庭も多く、要望を聞きながら検討していく。また、コロナの状況が落ち着けば、昼食会に保護者参加などの交流の場は検討してみたい。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5		・苦情受付窓口を整備し、重要事項説明書に記載している。相談や申し入れがあった場合には迅速に対応している。	・苦情には適切に対応している。なお、第三者による苦情受付窓口についても周知していきたい。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5		・毎月、事業所通信を発行し、子どもや保護者に活動予定を知らせている。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5		・取扱いに配慮している。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4		・子どもの特性に応じて視覚支援や選択肢の提供、分かりやすい言葉で伝える等の配慮を行っている。(1名)	・掲示物を提示したり、活動について事前予告するなどして意志の疎通や伝達を図る。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	4	・コロナ禍のため実施できなかった。	・敢えて招待は行っていないが、いつでも参観できる体制を作っている。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5		・契約時に重要事項説明書にて説明を行っている。	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5		・年2回実施している。(消防署立会のもと)	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	4		・面談時に聞き取りを行い確認している。 ・無回答(1名)	・契約時に持病や服薬等を確認し、職員間で情報を共有している。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3		・該当する児童はいないが、面談で保護者からの聞き取りで対応。(2名)	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5		・事例は少ないが、日頃から職員間でヒヤリハットにつながる気付きを共有している。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5		・毎年、虐待防止研修会に参加している。(コロナ禍のため中止となった研修あり)	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	3		・該当する児童なし。(2名)	・現在、身体拘束の必要性がある児童は通所していない。
集計		180	24			